
ネギま!?-黄金の英雄王-

Rumia

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネギま！？ - 黄金の英雄王 -

【ZPDF】

Z2055W

【作者名】

Rumia

【あらすじ】

黄金の英雄王がネギという少年に召喚され何故かわからないうちに兄弟みたいな関係になってしまった二人の物語

プロローグ

この物語はあるひとつの出会いから始まったのだった。

「やれやれ、今回はどのようなマスターが我を召喚……いー？」

黄金の鎧を纏つた男は何もない空中から出現した。高さは400~500メートルくらいはあるだろう。

「アーヴィングの本を全部読みました。」

男は地面に叩きつけられた。

「わざがこゝの嘘を無理だね。」

男は気を失つた。

そこにひとりの少年が歩いてきた。

「たしか食べれるような木の実がこゝに並んでゐる？」

少年は何かを発見したがそれは予想外のものだつた。

「わわ!? 木の実じやなくて人をみつけちゃったよ~? ? どうしよ

少年は慌てふためいているところ、

「どうしたの～ネギ～？」

ひとりの女子がやつてきた。

「お姉ちゃんたたた大変なんだよ～！～」
「ネギと呼ばれた少年はまだ慌てたままだつた。

「深呼吸して落ち着いて話してネギ」

お姉ちゃんと呼ばれた女子がネギに言った。

「いつもみたいに木の実を探してたんだ、そしたら人が倒れてて…」

少年は今までの経緯を話した。

「人が倒れてるですって！～どこに倒れてるの？」

女子はネギに聞いた。

「うわちだよー！」

少年は黄金の甲冑を纏つた男の元に案内した。

「綺麗な甲冑ね～じゃなかつたわね、とりあえず家まで運ぶわよー！」

女子は男を家まで運んだ。

「うわ……どーだこーは？」

男は目を覚ました。

「目が覚めた？僕はネギ・スプリングフィールドって名前でネギつ

てよんでは

少年は名前を名乗つたあとで事の経緯を語した。

「やうか、それは」苦労だつたな」

それから男は氣づいたように少年に聞いた。

「ネギとこつたか? ちよつと腕をみせてみる」

ネギは首をかしげながら腕を男に見せた。

「やうか、お前がマスターか…」
「マスター?」

少年は首をかしげた。

「お前の腕に紋章があるだらつ、それがマスターの証だ」と男は言った。

「本を首読したせいかな?」

「首讀で呼び出されたのか我は…」

すくに落ち込む男。

「あの～あなたの名前は?」

少年はおしゃるおしゃる聞いた。

「我的名前はギルガメッシュと云つんだ」

これが今から始まる一人の物語

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2055w/>

ネギま!?-黄金の英雄王-

2011年10月9日15時04分発行